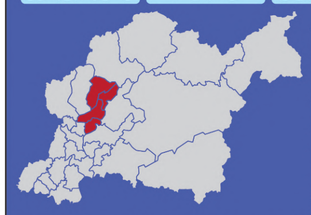
豊田市洪水ハザードマップ

猿投台　井郷　藤岡南 中学校区



命を守る行動をとろう！

想定される最大の浸水状況

1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨



－注意事項－
- マップに示した浸水の予想される深さや範囲は、計算結果によるものであり、雨の降り方によっては浸水の想定されていない地域においても浸水したり、想定される深さが実際の深さとは異なる場合があります。
- このマップは、洪水浸水想定区域図、内水浸水想定区域図、ため池ハザードマップなどの情報に基づいて作成しています。
- 国・県管理河川からの氾濫は、各河川管理者が「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」（平成27年7月）に基づき解析を行っています。
- 一部の豊田市管理河川等からの氾濫については「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」（令和2年6月）に記載されている土木研究所RRIモデルを用いて解析を行っています。
- 内水氾濫により想定される浸水深は、20cm以上を図示しています。
- ため池からの氾濫は、満水のため池が決壊した際の影響範囲を図示しています。
- 浸水実績（平成12年東海豪雨）の区域は、当時の聞き取り等により作成したものを図示しています。このマップは、土地利用や都市施設の変遷（宅地造成等）を反映した上での解析結果を掲載しているため、浸水実績（平成12年東海豪雨）が浸水想定区域内に含まれていないことがあります。
- 土砂災害警戒区域等は令和2年12月8日現在の内容です。
- 事後の基礎調査によって土砂災害警戒区域等の数及び範囲に変更が生じる場合があります。
- 一時避難場所・一時車両退避場所は、市内全域を対象とし、一時的に利用できる施設です。

凡　例

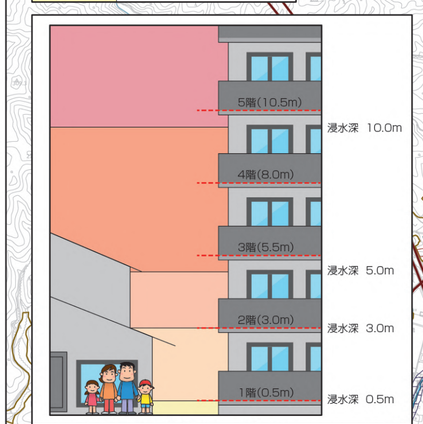
- 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）※
- 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）※
- 浸水実績（H12東海豪雨）
- 土砂災害特別警戒区域※
- 土砂災害警戒区域※
- 土砂災害危険箇所

※詳しくは裏面を参照してください。

- 緊急輸送道路等
- 道路（国道・県道）
- 中学校区
- 風水害時の指定緊急避難場所
- 一時避難場所／一時車両退避場所
- 官公庁・消防署・警察署
- 河川監視カメラ
- 水位観測所
- 雨量観測所
- No. 要配慮者利用施設

想定される浸水の深さ

	10m以上 ～
	5m以上 ～ 10m未満
	3m以上 ～ 5m未満
	0.5m以上 ～ 3m未満
	～ 0.5m未満



N

風水害時の指定緊急避難場所

は体育館が利用できない施設です。

番号	名　称	電　話	避難スペース
60	猿投台中学校	45-0039	体育館
61	青木小学校	45-0025	体育館
64	井郷中学校	45-8222	体育館
65	四郷小学校	45-2283	体育館
66	井上小学校	45-2411	体育館
67	猿投農林高等学校	45-0621	体育館
93	中山小学校	76-2509	体育館
1	崇化館中学校	31-0197	体育館
5	梅坪台中学校	31-2131	体育館
6	梅坪小学校	31-4882	校舎③(浸水)
7	浄水中学校	42-8400	体育館
10	豊田高等学校	45-8622	体育館
20	高橋中学校	80-0412	体育館
22	平井小学校	80-3011	北校舎、南校舎②(土砂)
24	市木小学校	80-0385	体育館
68	猿投中学校	45-0264	体育館
69	加納小学校	45-0024	体育館
70	南山国際高等学校･中学校	46-5300	体育館
77	石野中学校	41-2016	体育館
78	東広瀬小学校	41-2012	体育館

猿投台・井郷・藤岡南 対象校区外施設

○内の数値は階数を示し、その階数以上の階へ避難することを示しています。

河川監視カメラ

番号	名　称
24	平戸橋下付近(矢作川)
23	広梅橋下付近(矢作川)
25	篭川合流点付近(矢作川)
43	京町(籠川)

一時避難場所（協定施設）

番号	名　称
1	豊田高専(第二体育館) ※駐車場は利用できません。
2	中京大学
／	愛知工業大学
／	愛知学泉大学
5	ZENT大清水店(駐車場)
／	ZENT豊田本店(駐車場)
／	ZENT若林店(駐車場)

大規模な災害が想定され市から発表があった場合に限り、一時的に利用できる施設です。避難時は各自で必要なものをご持参ください。

一時車両退避場所（公共施設）

番号	名　称
／	市民文化会館
／	昆森公園(駐車場)
10	西山公園(駐車場)
11	新生公園(駐車場)
／	鞍ヶ池緑地(駐車場)
13	猿投公園(駐車場)
／	土橋公園(駐車場)
15	井上公園(駐車場)
／	丸山公園(駐車場)
17	石野運動広場(駐車場)

大規模な災害が想定され市から発表があった場合に限り、一時的に駐車できる施設です。避難時は各自で必要なものをご持参ください。

水位観測所

番号	名　称
24	平戸橋
3	猿投
6	京町
9	新富国橋
13	東梅坪橋
21	矢作川(右岸41.0K地点)
29	市木川大橋

猿投台・藤岡南 対象校区外施設

雨量観測所

番号	名　称
15	西広瀬
19	豊田(高町)
20	四郷
12	猿投
16	力石
17	加納
18	乙部

猿投台・井郷・藤岡南 対象校区外施設

官公庁・消防署・警察署

番号	名　称	電　話
54	猿投台交流館	45-2838
2	猿投コミュニティセンター(井郷交流館)	45-4807
9	北消防署	43-0093
24	猿投台交番	35-0110
88	藤岡南交流館	75-1707
8	石野出張所(石野交流館)	41-2001
11	北消防署力石出張所	42-1751
13	中消防署東分署	87-0360
23	加納駐在所	35-0110
25	広瀬駐在所	35-0110
28	梅坪交番	35-0110
30	高橋交番	35-0110
42	梅坪台交流館	31-0402
45	高橋交流館	88-4887
55	猿投北交流館	45-5480
60	浄水交流館	42-5920

猿投台・井郷・藤岡南 対象校区外施設

No. 要配慮者利用施設　（令和2年12月時点）

番号	名　称	番号	名　称
4	梅坪こども園	73	放課後等デイサービス能力探求スクールジーニアス荒井校
14	まふみ幼稚園	75	パッソ豊田校
15	ひらしば幼稚園	88	かけはし豊田
16	挙母小学校放課後児童クラブ	100	梅坪小学校
19	梅坪小学校放課後児童クラブ	101	挙母小学校
20	寺部小学校放課後児童クラブ	106	越戸こども園
27	菊池病院	108	エルステージ豊田
32	深見眼科	110	Growup豊田
33	豊田老人保健施設	112	COPAIN　スタージュ
34	老人保健施設ウエルビー	117	コベルプラス　梅坪教室
43	住宅型有料老人ホーム　ハート	127	西広瀬小学校放課後児童クラブ
46	デイサービスたいようのいえ	139	御船こども園
47	ニチイケアセンター豊田	146	飯野こども園
62	四季彩けやき	171	平井小学校
64	ナーシングホーム寿々豊田	172	西広瀬小学校
69	デイサービスおかげ庵けやき	193	石野中学校
70	デイサービスからふる豊田	200	杜若高等学校
72	グループホームたいようのいえ		

（令和3年3月　作成）　　測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 466

1:15000　1000　0　1000　2000　3000m

災害から命を守るのは まず、あなた自身です



【ハザードマップとは】

豊田市洪水ハザードマップは、大雨による被害から皆さんが避難する際の参考となる情報をまとめたものです。このマップには、矢作川をはじめとした市内の主要な河川が大雨により氾濫した場合に浸水が想定される区域や深さ、土砂災害の危険箇所、避難場所などを表示しています。

1 災害リスクを知ろう

まずは、自分の住んでいる地域の災害リスク（被害想定）を把握しましょう。

河川の氾濫によって予想される浸水の範囲と深さのほか、指定緊急避難場所などの情報が記載されています。
想定最大規模降雨（1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨）での被害想定になります。



1,000年に1回程度の確率で発生する規模の大雨*：1,000年毎に1回発生する周期的な大雨ではなく、1年間という期間でみた場合、毎年1/1,000(0.1%)程度の確率で発生する規模の大雨のことです。発生率は低いですが、今年や来年に発生する可能性もあります。何より、ひとたび発生すると甚大な大雨となるため、いざという時に命を守る行動をとれるように日頃から十分な備えが必要です。

詳しくはこちらのWebで・・・

洪水ハザードマップに関する様々な情報をまとめています。

- 洪水ハザードマップデータ（PDF）
- とよたiマップ（防災マップ）*
- 河川氾濫等の解析条件
- リアルタイム防災情報　など

とよたiマップ（防災マップ）*：Web上の地図に様々な災害リスクを重ねて表示できる地図情報サービスです。自由に拡大・縮小ができるため、自宅付近の災害リスクをより詳細に確認することができます。

2 避難先と避難経路を確認しよう

緊急時にあわてず無事に避難するには、事前の準備と確認が必要です。

避難行動について知ろう

水平避難（立退き避難）

浸水、家屋倒壊・流失、土砂災害の危険区域から離れ、安全な場所へ避難します。

離れた場所への移動のため、避難に一定の時間が必要です。事前に安全な避難経路や移動手段を確認したうえで、余裕を持って避難を開始しましょう。

垂直避難（上階等移動）

安全な場所へ水平避難する時間がない場合や逃げ遅れてしまった場合は、命を守るために、自宅の2階や近所の頑丈な建物のなるべく高い階など危険が及ばない場所に避難します。

あくまで命を守るための行動であり、浸水が長時間継続した場合や危険区域内に孤立した場合の問題点も考えておきましょう。豊田市には浸水が1週間続く箇所もあります。

屋内安全確保（在宅避難）

浸水、家屋倒壊・流失、土砂災害の危険がない場所または影響が少ない場所で、屋外に避難する方がかえって危険と判断される場合は、自宅などその場に留まり、安全を確保します。

電気・水道・ガスの停止に備えた準備や食料、水、常備薬などの用意を日頃からしておきましょう。

避難先を考えよう

・表面のマップにアイコン表示がある避難先は「指定緊急避難場所」と「一時避難場所・一時車両退避場所」です。
・避難先はこの2つである必要はありません。下で紹介する施設等を参考に、自身や自宅の状況に応じて最適な避難先を考えておきましょう。

指定緊急避難場所

災害の危険から身を守るために緊急的な避難先として市が指定している施設です。風水害時に使用できない緊急避難場所もあります。



車中泊

安全な場所に停めた車中での避難です。プライバシー確保に有効ですが、エコノミークラス症候群対策など体調管理に注意が必要です。指定緊急避難場所駐車場のほか、一時的に開設される一時避難場所や一時車両退避場所を活用しましょう。



自宅

屋外に避難する方がかえって危険な場合があるため、屋内で身の安全を確保する在宅避難も考えましょう。危険を感じたら自宅の2階へ垂直避難するなど身を守りましょう。



自主避難場所

自治区が指定する避難場所です。緊急避難場所が開設されるまでの待機場所や住民の避難所など地域によって指定の有無や取扱いが異なります。



親類・知人宅

安全な場所に身を寄せられる親類や知人がいれば、避難先として活用を考えましょう。日頃から避難について相談しておきましょう。

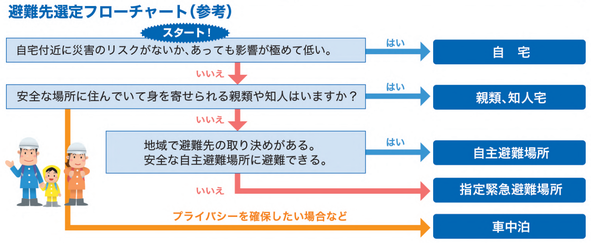


緊急退避場所（最後に命を守る場所）

逃げ遅れた場合などに、命を守るため緊急的に安全を確保する場所です。すぐに移動できる少しでも安全な場所を、あらかじめ緊急退避場所として決めておきましょう。



避難先選定フローチャート（参考）



雨が激しく・長くなるほど、発生する洪水の規模が大きくなります。

台風や豪雨によって引き起こされる洪水は、「雨の強さ」や「あふれる場所」（大河川、中小河川、水路など）によって、あなたの自宅に被害を与えるのか、また、どれくらいの被害となるのかが異なります。
例えば、❶激しい雨が続く場合には、水路や側溝から水があふれることがあります。さらに、❷非常に激しい雨が続く場合には、中小河川（水無瀬川、御船川、犬伏川、飯野川などの河川）からも水があふれることがあります。さらに、❸猛烈な雨が降り続く場合には、大河川（矢作川）から水があふれることがあります。

① 大雨の初期・浸水の発生（激しい雨が降り続く）

10年に1回の確率で発生する規模の大雨



【浸水状況】

身近な道路の水路や側溝などから水があふれるものの、浸水はまだ浅い。

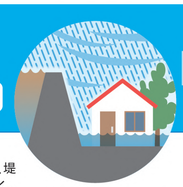


水路や側溝からの浸水範囲

※出典：内水浸水想定区域図

② 雨が強くなる・浸水の広がり（非常に激しい雨が降り続く）

30~50年に1回の確率で発生する規模の大雨



【浸水状況】

矢作川の支川（水無瀬川、御船川、犬伏川、飯野川）の水位が上がり、堤防から水があふれるなど、浸水する範囲も広がり、深さも増していく。



中小河川からの浸水範囲

※出典：内水浸水想定区域図及び洪水浸水想定区域図・浸水予想図（一級河川矢作川水系矢作川中流支川/矢作川上流支川/鞍川流域）（二級河川境川水系境川・逢妻川流域、二級河川猿渡川水系猿渡川流域）

③ さらに雨が強くなる・浸水のさらなる広がり（猛烈な雨が降り続く）

150年に1回の確率で発生する規模の大雨



【浸水状況】

矢作川の水位が上がり、堤防から水があふれるなど、さらに広い範囲で浸水被害が発生する。



大河川からの浸水範囲

※出典：内水浸水想定区域図、洪水浸水想定区域図・浸水予想図（一級河川矢作川水系矢作川中流支川/矢作川上流支川/鞍川流域）（二級河川境川水系境川・逢妻川流域、二級河川猿渡川水系猿渡川流域）及び洪水浸水想定区域図（一級河川矢作川水系矢作川）

大雨が降った時に生じる災害リスク

河川氾濫による浸水

河川の水位が上昇し、堤防から水があふれたり、堤防が崩れたりすると、家屋、道路、農地などまちが水につかります。大雨の規模によっては、ビルの5階以上が水につかる箇所も出てきます。



家屋倒壊等氾濫想定区域

大規模な洪水が発生した場合、家屋が倒壊もしくは流失する危険がある区域です。水平避難が必要であり、垂直避難を避けるべき区域です。家屋が倒壊する原因は、堤防が決壊した場合に発生する激しい**氾濫流**や河川の流れによって護岸や堤防と共に侵食される**河岸侵食**などを想定しています。



内水氾濫による浸水

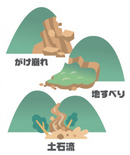
水路やマンホールから水があふれたり、低い土地では水が溜まったままになります。通常、まちに降った雨は、水路や側溝などを通って河川に排水されますが、大雨が降ると、河川水位が上がり、水路から河川に排水されにくくなります。河川の水位が下がらないと、浸水が長時間続く箇所も出てきます。

ため池の決壊

ため池は、利水目的（農業等に使用）以外に、大雨の時に水を一時的に貯める機能を持っています。ため池が決壊した場合は、ため池の下流側で浸水が発生する可能性があります。

土砂災害

大雨に伴って、山の斜面やがけが崩れる**「がけ崩れ」**、緩やかな斜面が地下水の影響などでゆっくりと崩れていく**「地すべり」**、崩れた土砂が雨水や川の水と混じって流れ、家屋、道路、農地が土砂で埋まる**「土石流」**などで発生する災害です。



土砂災害警戒区域（通称イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合に、住民の生命や身体に、危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。



土砂災害特別警戒区域（通称レッドゾーン）

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域です。

